

ISBN (International Standard Book Numbering) が日本の図書（逐次刊行物を含まない）に付与されるようになったのは 1980 年からである。強制的ではないのだが、このコードを付与しないとコンピュータ処理による図書流通ルートに乗らないから、今ではほとんどの図書に付与されている。

ISBN は国際規格として標準化され、その第 3 版 (ISO 2108:1992) に対応する日本工業規格は 1999 年に制定された (JIS X 0305:1999)。この規格に基づく 10 桁のコードがながらく使用されてきたが、国際的な商品コードシステムの一環に取り込まれることになり、2005 年に 13 桁のコードを内容とする第 4 版 (ISO 2108:2005) が制定された。従来の 10 桁コードと図書をあらわす 3 桁コード「978」(2011 年からは「979」を追加) とを組み合わせたものだが、それに対応する JIS 改正はまだ行われていない。もっとも、国内で ISBN を管理している「日本図書コード管理センター」では、2006 年に桁数の変更を出版界に告知し、諸外国と足並みをあわせ、2007 年 1 月 1 日から 13 桁付与を実施している。

現行の ISBN コードは以下の 5 項目からなる 13 桁の数字で構成される (ISO 2108:2005)。

- ① Prefix element¹⁾
- ② Registration group element²⁾
- ③ Registrant element³⁾
- ④ Publication element⁴⁾
- ⑤ Check digit

1) EAN (European Article Number) International (現在は GS1 と改称) によって、図書をあらわす「978」または「979」が指定されている。

2) ロンドンに所在する International ISBN Agency によって、日本には「4」が指定されている。

Cf. <http://www.isbn-international.org/page/ranges>

3) 出版社からの申請によって日本図書コード管理センターが付与する。すでに付与されたコードは約 2 万社、コード表は出版されていないが、出版社とコードとの対応は同センターのホームページから検索が可能である。全世界の出版社を網羅するコード表 “Publishers’ International ISBN Directory (PIID)” (ISSN 0939-1975) は年刊で、Sauer, Berlin から出版される。その第 38 版 (2012) は Geographical Section (4 冊) および Numerical ISBN Section (2 冊) から成り、約 90 万機関が収載されている。国別のコード表は各国のセンター (米国ならば Bowker) が作成している。

4) 出版社が自主的に付与する。

10 桁コードに代わる 13 桁コードでは、②③④はそのまま残り、①は追加され、それによって⑤は変更となる。

PIID の ISBN 標示を以下に示す。

ISBN-13: 978-3-598-21592-6

ISBN-10: 3-598-21592-4

2007 年以降の付与は ISSN-13 のみだが、当面は両者の併記が続く。コンピュータ処理においては「-」をつけなくてもよい。

Registration group element (地域コード) はかならずしも国名コードを示すわけではなく、出版点数の多い地域では 1 桁、少ない地域では 5 桁が割り当てられる。たとえば、英語圏は「0」および「1」(ただしインドは「81」および「93」、日本は「4」、中国は「7」、韓国は「89」、ネパールは「99946」である。

Registrant element (出版社コード) は、日本図書コード管理センターが出版点数に応じて 2 桁から 7 桁にわたって付与する。参考までに、2 桁が付与された出版社を以下に示す。

4-00-	岩波書店	4-10-	新潮社
4-01-	旺文社	4-11-	全音楽譜出版社
4-02-	朝日新聞出版	4-12-	中央公論新社
4-03-	偕成社	4-13-	東京大学出版会
4-04-	角川書店	4-14-	NHK 出版
4-05-	学研	4-15-	早川書房
4-06-	講談社	4-16-	文藝春秋
4-07-	主婦の友社	4-17-	国立印刷局
4-08-	集英社	4-18-	明治図書出版
4-09-	小学館	4-19-	徳間書店

Publication element (書名コード) は、出版社名コードが 2 桁のときは 6 桁 (100 万点を収容できる)、7 桁のときは 1 桁 (10 点を収容できる) となる。収容点数を越えれば、別の出版社コードを取得する。

ISBN によって世界的規模で図書を同定することができるから、ISBN だけで図書を発注することが可能となり、新聞に収載される出版広告にも ISBN を付記する事例が増えてきた。国内で流通している図書に印刷されている「日本図書コード」は、ISBN のほかに分類コードおよび本体価格 (消費税を含まない) を加えたセットで、「書籍 JAN コード」はこのセットをバーコードにしたものである。

日本センター、<http://isbn-center.jp/>

国際センター、<http://www.isbn-international.org/>
流通システム開発センター (書籍 JAN コード)、
http://www.dsri.jp/code/jan_book.htm

(太田泰弘)